

素直アドバイザー 1級資格試験のご説明

(旧ステップアップ講座の見直し内容のご説明)

令和6年10月26日

全国PHP友の会
学 び 推 進 部

1. 審査方法の見直し

■2023.3：レポート発表（従来）



■2024.3：活動実績とレポート発表

※活動実績は合格、レポート発表は不合格⇒結論：不合格が多発



■見直し⇒レポート発表と面接

※活動実績は参考扱い

| 2024.3（前回） | 2025.3（今回） |
|---|---|
| 活動実績（50%） ※申込書 | 活動実績⇒参考（評価対象外） ※申込書内容を面接で使用 |
| レポート発表（50%） ①レポートⅠ 「PHP友の会における私の実践」 以下の3つのテーマを含む発表をお願いします。 ・「PHP友の会を運営するポイント」 ・「PHP友の会会員を増やすポイント」 ・「明日からの私のPHP友の会活動実践プラン」 ②レポートⅡ 「PHP友の会活動とその魅力について」 ★PHPを知らない一般の方に、PHPの基本的な考え方や活動を紹介するプレゼンになります | レポート発表 ①レポートⅠ 「PHP友の会における私の実践」 以下の3つのテーマを含む発表をお願いします。 ・「PHP友の会を運営するポイント」 ・「PHP友の会会員を増やすポイント」 ・「明日からの私のPHP友の会活動実践プラン」 ②レポートⅡ⇒廃止 ※語り部的要素は削除 |
| ※ZOOM参加可 | 面談 ⇒新設 ※ZOOM参加不可 ※申込書記載等に関する質問 ・受講目的・活動成果・今後の目標等 |

2. 審査・評価方法の見直し

■レポート発表 (10分)

- ※評価内容①発表内容 ※発表要領 (3つのテーマ) を捉えているか等
- ②観察・進行
- ③話し方 (説明・質問回答) 等

■面談 (20分)

- ※面談内容①申込書記載内容のヒヤリング等
 - ・受講目的・活動成果・今後の目標 等
- ②レポート発表に関する質問等
- ※評価内容①友の会活動の取組み状況
- ②友の会活動に関する熱意とやる気と考え方

■合否判定

- レポート発表と面談結果について、審査員による審査会を開催し合否判定を決定します。 ※点数評価しない総合評価
- ※総合評価：合格 (審査結果を評価し、今後の活動に期待できる)
 - 不合格Ⅰ (来期再チャレンジ要望)
 - 不合格Ⅱ (チャレンジの再検討要望)

■運営方法等

- ①レポート発表と面談をセットにした、個人対応形式とする。
- ※従来の講座 (集団) 形式でなく、試験 (個人) 形式にする。

※申込書の報告に現在の活動状況を報告 ⇒2024.3から運用済

3. 友の会の活動状況等の報告

(1) 所属する友の会名：

(2) 現在の役職等：

(3) 過去の役職等：

(4) 素直アドバイザー1級資格取得の目的

(5) これまでの友の会活動に関する成果等（自己アピール）

(6) 今後の友の会活動について（行動目標等）

※面談のヒヤリングに使用します。

3. 友の会の活動状況等の報告 ※全項目が自己アピールです。漏れなく記入する。

(1) 所属する友の会名：仙台あおばPHP友の会、秋田PHP友の会

(2) 現在の役職等：学び推進部部長、宮城県地区長、仙台あおばPHP友の会会長

(3) 過去の役職等：

(4) 素直アドバイザー1級資格取得の目的

①東北エリアのリーダとして、東北エリアの友の会活動の活性化を図りたい。

②全国レベルのステージで、友の会活動の推進役として貢献したい。

(5) これまでの友の会活動に関する成果等（自己アピール）

①宮城県地区の地区運営機能の確立（交流会・クリーン活動・新会作り）

②学び推進部の業務改革（素直アドバイザー制度見直し・友の会セミナー-充実・かわら版）

③東北エリア本部（東北かわら版、東北エリア本部体制見直し）

④拠点友の会（仙台あおばPHP友の会、秋田PHP友の会）

(6) 今後の友の会活動について（行動目標等）

■現状課題；高齢化・会員減少の対策 ⇒友の会活動の原点（素直な心）が大事。

①楽しい参加したくなる友の会活動が基本（大切）である。（拠点友の会・県地区活動）

②友の会活動の基本である、学び・交流・社会貢献を確実に実施する。

③過去の取組みに捕らわれず、常に改革の時期と考え内容を精査し判断行動が必要である。

※面談のヒヤリングに使用します。

4. その他

(1) 推薦者について

- ① 推薦者は自分を素直アドバイザー 1 級者として適任として、自分の紹介・適格者としての説明をしていただきます。
- ② 推薦者は、自分の上位役職者が望ましいが必須とはしない。また、推薦者としての責任を持っていただくこととなります。

(2) 審査員と審査方法について

■ **審査員は、素直アドバイザー 1 級者から 5 名選択し固定化する。**

※ 審査員事前会議を開催し、事前に意識合わせを実施する。

審査員：示野哲男会長

相馬武副会長

中村邦子特任顧問（女性会員代表）

田中和久（学び推進部代表）

三宅広之（事務局長）

審査方法：各審査員が、合否を判断する。

※ 審査員全員合格の場合は、即合格とするが、1 名でも不合格が出た場合は、審査員全員による再審査を実施し合否を再検討。

素直アドバイザー 1 級推薦書

令和 年 月 日

私は、素直アドバイザー 1 級資格試験を受験する _____ さんを、素直アドバイザー 1 級の適任者として推薦致します。

1. 推薦者（受験者を推薦する方）

- (1) 氏名：
- (2) 役職等：
- (3) その他：

2. 受験者（素直アドバイザー 1 級資格試験受験者）

- (1) 氏名：
- (2) 役職等：
- (3) 現在の友の会活動状況

- (4) 推薦理由

- (5) 素直アドバイザー 1 級資格取得後の期待する活動等

注意：素直アドバイザー 1 級資格試験を受験する方の推薦者として、推薦する方の日頃の友の会活動及び推薦理由等を報告願います。この推薦書の内容も審査員の審査評価の対象となります。

1. レポート発表

| 観点 | 評価ポイント |
|----------|---------------------------|
| 1. 内容内 | 発表：「PHP友の会における私の実践」 |
| | ① 3つのテーマにあった話になっているか |
| | ② PHP友の会の目的、活動について理解しているか |
| | ③ 話の流れがわかりやすく組み立てられていたか |
| | ④ 実践計画がしっかり立てられていたか |
| | ⑤ 独りよがりではなく皆に理解が得られる内容か |
| | ⑥ 伝えたい点をわりやすく熱意を込めて話せたか |
| | ⑦ 体験談や具体例を出すなど工夫をしていたか |
| 2. 観察・進行 | ① 聞き手の表情などに目を配って対処していたか |
| | ② 聞き手をあきさせない工夫をしていたか |
| | ③ 質疑に際して、適切に応答していたか |
| | ④ 持ち時間を守るなどの発表の基本を押さえていたか |
| 3. 話し方 | ① 声の大きさは適切であったか |
| | ② 話し方のスピードは適切であったか |
| | ③ 明確でメリハリのある話し方であったか |
| | ④ 間の取り方は適切であったか |

| 2. 面談 | |
|----------------|-----------------------|
| 観点 | 評価ポイント |
| 1. 申込内容のヒヤリング等 | ①試験受験目的 |
| | ②活動成果（自己アピール） |
| | ③今後の目標等 |
| 2. レポート発表の質問等 | ①友の会活動に関する熱意とやる気 |
| | ②友の会活動に関する考え方 |
| | ③質疑に際して、適切に応答していたか |
| 3. 推薦書 | ①推薦理由 |
| | ②素直アドバイザー1級者としての今後の期待 |

(3) ステップアップ講座の名称変更

※講座の名称だが、実際には資格試験・・疑問の声有り

□見直し案

(1) 現行：ステップアップ講座

(2) 見直し：

① **素直アドバイザー 1級資格試験の事前説明会⇒10月26日(土)**

※素直アドバイザー1級の位置づけ・試験内の説明会を開催する。

※1級受験可能該当者への受験案内で、説明会参加を呼び掛ける。

② **素直アドバイザー 1級資格試験**

※事前説明会の開催により、内容を理解した上で、チャレンジする。

期待効果：受験不適切者の申込防止効果が期待できる

■基本事項：友の会はボランティア活動であり、自己のキャリアアップ等の人材育成は、
本人の希望による取組が基本である。

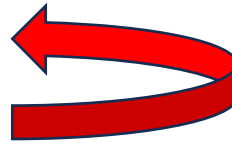
素直アドバイザー制度

※素直アドバイザーに期待する役割参照

■友の会活動を強力に推進できる。【資格取得】

1. 素直アドバイザー 1級
※ステップアップ講座の受講試験
※友の会セミナーエキスパート編の再受講
2. 素直アドバイザー 2級
※友の会セミナーエキスパート編の再受講
※課題図書「人間を考える」感想文提出
※活動レポート提出
3. 素直アドバイザー 3級
※友の会セミナー受講（3セミナー）
※課題図書「素直な心になるために」感想文
※活動レポート提出

更なる知識習得による
キャリアアップ



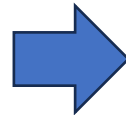
自主参加型学習ツール

※学び推進部推奨

■素直アドバイザーやPHP友の会セミナーに対し、
更なる理解を深めるための自主参加型学習ツール

1. 語り部養成講座・佐藤塾
■素直アドバイザー 1級取得希望者向けの講座
※友の会活動や松下幸之助について学ぶ
※プレゼンの資料作成・発表のノウハウ習得
※月1回開催の7回開催講座
※講師：佐藤悌二郎顧問
2. オンライン「道をひらくを読む会」
■「道をひらく」の講義視聴とグループディスカッション
※講義視聴で内容を深く理解できる。
※グループディスカッションによる・交流・学習効果
※毎月開催の半期単位講座
※講師：大江弘顧問

更なる知識習得

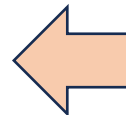


PHP友の会セミナー

■友の会活動について、基本から応用までを学ぶ
※講義とグループディスカッション

1. ベーシック編（初級）
テーマ：「豊かで幸せな人生のために」
2. アドバンス編（中級）
テーマ：「素直な心を学び、実践方法を考える」
3. エキスパート編（上級）
テーマ：「P H P 友の会のリーダーになろう」

※本部開催（ZOOM）、エリア開催（リアル）



特待生制度

※エリア本部長の推薦ツール

- エリアや地区等のリーダー候補生の育成
※友の会セミナー参加費無償及び旅費支援

※セミナー受講後に資格取得に挑戦



素直アドバイザーに期待する役割

| 活動領域 | 活動内容 | アドバイザーの位置づけ |
|--|---|---|
| <p>拠点友の会の活動に参加</p> | <p>素直な心を理解し、共感 学び、交流、社会貢献の実践 新し仲間に声掛け</p> | <p>素直アドバイザー3級</p> <p>素直アドバイザー2級</p> <p>素直アドバイザー1級</p> |
| <p>拠点友の会の役員活動 ○会の運営</p> | <p>素直な心の大切さを語れる 魅力ある会の運営で仲間を増やす 会の垣根を超えた交流</p> | |
| <p>地区やエリアの役員活動 ○仲間づくり ○新会づくり</p> | <p>学び、交流、社会貢献の活動推進 セミナーやイベントを開催 地区やエリアの垣根を超えた交流</p> | |
| <p>全国本部役員活動 ○PHP社会の実現に向けた組織運営</p> | <p>全国本部の事業運営を実施できる エリア本部の指導、支援ができる PHP社会の実現にチャレンジ</p> | |

現在の素直アドバイザー1級者（11名）

| NO | 氏名 | 役職等 | 資格取得 |
|----|------|--------------------------|--------|
| 1 | 市野俊哉 | 関西エリア本部副本部長、元経営者友の会推進部部長 | 2018.5 |
| 2 | 笠原三郎 | 埼玉県地区長、元東関東エリア本部副本部長 | 2019.6 |
| 3 | 牛頭常雄 | 元神奈川県地区長、横浜松下幸之助経営を学ぶ会会長 | 2017.6 |
| 4 | 示野哲男 | 会長、次世代活躍PJ、経営者友の会推進部部長 | 2018.5 |
| 5 | 相馬 武 | 副会長、交流仲間づくり推進部部長 | 2019.6 |
| 6 | 田中和久 | 北海道エリア本部副本部長、学び推進部副部長 | 2018.6 |
| 7 | 中村邦子 | 特任顧問、元社会貢献推進部部長 | 2020.5 |
| 8 | 桧垣 淑 | 関西エリア本部役員、奈良県地区長、 | 2019.5 |
| 9 | 前島賢司 | 全国大会東京大会実行委員長、元埼玉県地区長 | 2018.6 |
| 10 | 三宅広之 | 本部事務局長、全国大会京都大会実行委員長 | 2020.5 |
| 11 | 林 光夫 | 沖縄エリア本部長、歩愉の会会長 | 2024.6 |

素直アドバイザー 1級に合格すると・・・！

1. **年1回の活動レポート報告 【4月】**
※1年間の活動結果報告&活動計画を作成し報告していただきます。
2. **素直アドバイザー意見交換会（ZOOM開催） 【5月第4土曜日】**
※素直アドバイザー1級者の意見交換会に参加いただきます。
※活動レポート報告の発表とアドバイザーの意見交換を実施します。
3. **友の会セミナーエキスパート編に参加 【6月】**
※エキスパート編にアドバイザーの立場で参加いただきます。
※任意参加ですが、有料で参加いただきます。

※これ以外には、特段の活動に関する**義務も特権も**ございません。

ご自身の考えで、友の会活動にボランティア活動として、
積極的な取組をお願い致します。

素直アドバイザー 1級に合格すると・・・！

【様式】 素直アドバイザー 1級者レポート

※2023年度活動結果報告（2023.4～2024.3）

名前： 年齢： 才 エリア：

1. 主な役職等 ※3項目程度
2. 今期活動結果報告 ※自己PR願います。
3. 来期活動計画（目標）報告 ※2024.4～2025.3
4. 学び推進部&事務局への意見・要望等 ※自由記入

※年齢は、2024.4.1現在で記入願います。

■ステップアップ講座の見直し検討会等の取組み

1. 見直し検討会 ※主管：学び推進部
 - (1) メンバー：示野会長、相馬副会長、佐藤悌二郎顧問、大辺・三宅事務局長
馬戸関西エリア本部長、武田学び推進部長、田中副部長
 - (2) スケジュール
 - 第1回検討会：6月 6日（木） 19時30分※佐藤顧問欠席
 - 第2回検討会：7月26日（金） 19時30分※三宅事務局長交代
 - 第3回検討会：8月22日（木） 19時30分※佐藤顧問欠席、
※田中副部長出席

2. 本部役員会ご説明 ※9月7日～8日の1泊役員会
目的：エリア本部長クラスからご意見をいただき、
見直し案について、了解いただきました。



※ 3 回目の検討会にて見直し案を作成でき、笑顔での会議終了となりました。

検討会メンバーの皆様、忙しい中検討会に参加いただき、ありがとうございました。
心より感謝申し上げます。 学び推進部 武田栄治